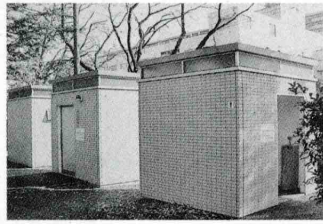


# 公園のトイレにも神様はいるの？

## 平成19年度に建替えた「旭が丘中央公園」のトイレ



だれでもトイレ室内



外観（奥から女性用、だれでもトイレ、男性用）

「トイレの神様」という歌が流行っていますが、公園のトイレにも神様はいるのでしょうか？……答えは後ほど……まずは、公園のトイレの現状についてお話しさせていただきます。

お年寄りや小さいお子さんが安心して公園を利用するための要素のひとつとして、公園にトイレがあることがあげられます。現在、多くの方に利用される近隣公園以上の大きな公園12箇所については、

すべてにトイレを設置してあり、その他の公園・遊び場・地区広場のトイレを合計すると、24箇所の公園にトイレを設置しています。

整備については、小規模な公園にトイレを新たに設置する場合は、住宅の目の前にトイレが新設されることとなり、住民の理解を得ることは大変難しい状況にあります。新規に設置する公園へはできるだけトイレを設置し、また、老朽化しているトイレについては東京都などの補助金を導入して、誰もが利用しやすい、被災時に緊急対応できるユニバーサルデザインの防災型トイレに更新してきており、今後画的に整備していきたいと考えています。

「トイレの神様」の話に戻りますが、皆さんはどう思いますか。私にはいるのでは？…と書いています。

歌詞の中では、「トイレをきれいにしておく」と「べっぴんさんになれる」と歌われていますが、公園のトイレもきれいにしていれば何かいいことがあるのではないのでしょうか。公園トイレの利用者のほとんどの皆様、特にこのコラムをお読みいただいている方は公園のトイレをきれいに利用していただいております、大変感謝しています。もしかすると「トイレの神様」のご利益があるかも知れませんね。

しかし、中には流さない人や室内を汚す人がいたり、また、ビニールごみ、石や木片、火花のごみなどの異物を流してしまふ人もいて、汚かったり、詰まってしまうトイレが利用できないなどの苦情が多くなってきました。子どもがいたずらだけではなく、利用マナーが悪くなってきました。トイレの神様は大変悲しんでいるのではないかと……。

あるお宅におじゃましてトイレがきれいだと、幸せな家庭なんだろうなと思うことがあります。公園のトイレも同じで、きれいにしていれば市外からのお客さんに良い印象を与えて、観光客が増えるなど、「トイレの神様」の恩恵があるかも知れません。

そんなことも考えながら、緑と清流課では、公園のトイレをだれもが気持ちよく利用していただけるように、週3回程度の清掃を行っています。今後も皆様のご協力をいただきながら、だれもが気持ちよく公園のトイレを利用していただけるよう清掃や利用マナー向上に努めていきたいと考えています。(H・F)

## 国際シンポジウム 水の郷日野 食と農とまちづくりに参加して



今回のシンポジウムは、水の郷・日野の地域活性化プロジェクトの一環であるので、若手は違うと思いますが、地域活性化・地域ブランド創造のために必要なヒントを求め一人として参加させていただきました。

地域活性化のための一つの重要要素として「食」があると思います。近年、B級グルメ・ご当地グルメでのまちおこし事業が全国的に開催されていることが良い例であり、観光等で集客を図り地域を活性化するためには「食」は避

けられないと感じています。講演者であるローマ大学バルバラ・スタニシア氏は「食文化観光」に関するテーマで講演されたので印象深い内容を紹介します。活性化のためには

「①資源を何にするか②どのように利用するか③だれがどのように関わるのか④新しいイメージで構築」が必要な事柄ということでした。また「過去のものは大切だがどのように変えていくかを考える」という話もありました。これは「食」に限らず日野市のイメージやブランド創造に役立つヒントであろうと認識したところです。

また、今回の基調講演・パネルディスカッションでは多岐にわたる意見がありました。あくまでも私的な感想ですが、各々の意見を吟味し正確に取舍選択する必要があると感じたところです。

今回のシンポジウムに参加し、地域活性化・地域ブランド創造のための必要要件としては「①地域を更に良く見て素材を探す②長期間で創り出す③地域文化を大切(大事)にする④人材(材)を育てる」と解釈しました。これらを今後の業務に活かしていく所存です。(企画部企画調整課 K・A)